



段ボール端材を子どもアートに

株式会社中川パッケージ
代表取締役社長 中川 仁
平成24年6月26日 火曜日



企業概要

- 社名 株式会社中川パッケージ
- 所在地 京都市南区唐橋井園町48
- 事業所 関西(京都)九州(福岡)八代(熊本)
滋賀(東近江)
- 創業 明治37年6月 設立 昭和18年1月
- 資本金 3,000万円 社員数 83名



事業内容

- 段ボールケース製造・販売
- プラスチックダンボール製造販売
- 熱可塑性ポリウレタンフィルム包装材の
製造販売
- キュービックフローター®
- 緩衝材ポリエチレンフォームの加工販売
- その他荷造り資材の販売
- 包装設計



- 背景
- CSRの取り組み内容
- なぜ？このような取り組みを行うのか？
- 取組実績（事例紹介）
- 取組の効果
- 取組の課題
- 今後の方向性



背景

- 人が生活する限り、ものが動き、
ものが動くと必ず使われるのが

梱包材



■しかし……

使用された後は……ゴミとなる。

もちろん、リサイクルされ段ボールは再度段ボールとして生まれ変わるのですが……



■ 生活をするためにはなくてはならないけれど

運んだらいらなくなるという 相反することを

常に抱えています。



CSR活動の一環としての3R活動

■リサイクル 使用後段ボールへ再生

■リデュース 省資源 設計により

最小限の使用量に

■リユース 何度も使えるよう

プラスチック製や強度を上げる

……しかし…… それだけでは……



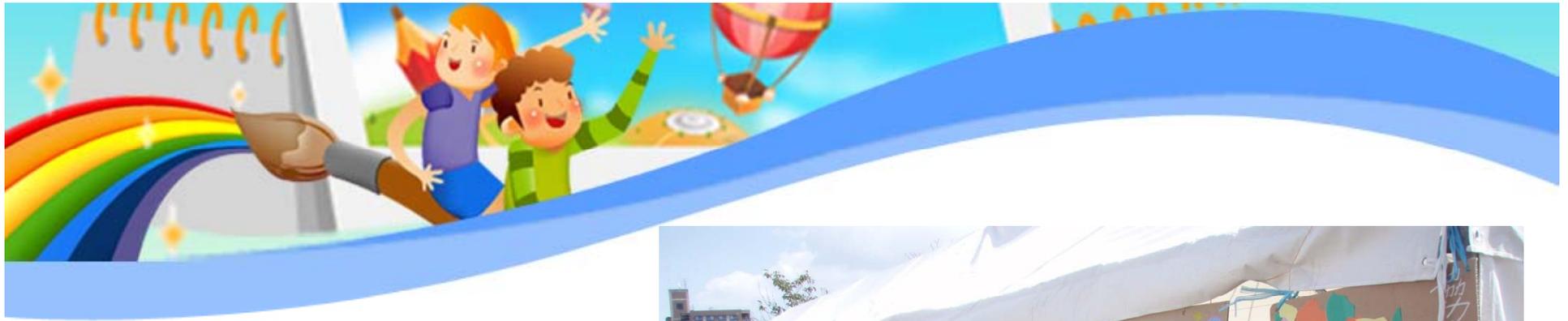
なぜ？こどもアート活動を行うのか

- どうしても生産する際に出る 段ボール端材
- そのままリサイクルに回すにはもったいない
- リサイクルにも費用が発生する
- また、お取引先の品質基準が厳しく
- 少しでも傷やへこみ、カスレがあるとクレームに
- それゆえ、選別して再生紙としてリサイクルへ回す



最初の活動

- 毎年、洛南高校さんの文化祭に
段ボールの端材を提供
- 幼稚園などに加工後の端材を提供
- とても喜んでいただく



デザイン等で産学連携事業をしてきた京都造形
芸術大学さんよりワークショップイベントで素材を
提供してほしいと依頼される



段ボール生産後の抜き端材



当たり前前にリサイクルとして
回収されていた端材・・・

『**宝の山**』



企業理念

- 包装を通じて社会に貢献する企業になろう
- 地球環境にやさしい包装に最優先で取り組もう

ということもあり、**KESという環境活動**を行ったり、**会社周辺の清掃**で美化活動に努めてきたが、さらにお役にたてることができた。



- ワークショップを通じて、限りある資源の大切さ、段ボールの活用、**親子の絆、人と人とのつながり**、わが社の社員に仕事に対する**誇り**ありがたいの笑顔が構築される

**もっと積極的に
行おう！！**





活動事例

NPO法人子どもアートさんと京都造形 芸術大学とのコラボ



2011年 U35とのコラボ

■ 京都の未来を考える食べ物会議にてワークショップ



(2011年1月22日
みやこめっせ)



あそなびフェスティバル

2011年9月9日から19日



元・立誠小学校



三二京都2011 8月19日～22日



京都造形芸術大学内



世界子ども絵画展 (2010年9月25日から10月12日京都造形芸術大学)

世界子ども絵画展
子どもたちから
地球へのプレゼント

2010
9.25 土 ~ 10.12 火
10:30 ~ 18:30 (会期中無休)

主催：京都造形芸術大学 こども芸術学科
NPO法人 子供地球基金

共催：京都造形芸術大学芸術教育研究センター こども芸術大学

協賛：ターナー色彩株式会社 三菱鉛筆株式会社
株式会社ルミエール 株式会社中川パッケージ

協力：葵児童館 北白川児童館 紫竹児童館
修学院児童館 西賀茂児童館 紫野児童館

運営：京都造形芸術大学 こども芸術学科
世界子ども絵画展学生プロジェクト







京都造形芸術大学子ども芸術大学 こども芸大スカイツリー制作



2011年12月5日



NPO法人スウィング イベント

2012年2月19日



ひと・まち交流館 京都



取組みの効果

- とても喜んでいただいた
- 使用済み段ボールの**可能性**をしめす
- 端材の**新たな活用方法**があるかも
- たくさんの方との出会い
- 将来のユーザーの育成と創造性の育成
- **企業価値の認識**
- 社員の仕事に対する**ほこり**



取り組み実施の課題

- 経営者の思いの浸透がまだまだ
- 休日等の社員参加が難しい
- 活動できる人数が限定的
- 部材提供が直接的な利益活動に結び付かず
- 数が多くなると負担となる可能性がある
- 実際のロス(品質でロットアウトになる)が減らない
- 特に過剰品質を求められ、受託施設に依頼している製品がロットアウトになり、難易度が低い少量の仕事しか出せない
- 企業として継続するには利益の仕組みをつくらなければならない



今後の取り組みの方向性

- **継続**は力なり
- 自社単独ではなく、**コラボレーション**
- 大手企業さんのワークショップに参加
- 児童教育教材など **開発**をおこなう
- **人脈を広げる**
- 企業としての活動PRをおこなう
- デザイナーや産学連携で製品化にできないか？
- 製品化により、受託施設や高齢者に仕事を提供



- 皆さんの周りにはもしかしたらたくさんの
- **宝の山**が眠っているかもしれません



- いろいろなものを大切にしましょう！



- ご清聴ありがとうございました.
- 株式会社中川パッケージ
- <http://www.nakagawa-pkg.co.jp>